

※日本語要約は参考として提供しているものです。本情報を参考にされる場合は必ず原文をご参照ください。(国立医薬品食品衛生研究所安全情報部)

WHO (世界保健機関) : <http://www.who.int/en/>

要約 (仮訳)

専門家がメラミンについての耐容量を設定 (2008年12月5日)

Experts set tolerable level for melamine intake (5 December 2008)

<http://www.who.int/mediacentre/news/releases/2008/pr48/en/index.html>

WHO が今週カナダのオタワで開催した国際的な専門家による会合で、メラミンの TDI (耐容 1 日摂取量) が 0.2 mg/kg 体重に設定された。この値は、これまでいくつかの機関で出されていた TDI より低い。会合には、メラミン及びシアヌル酸を毒性面から検討するために、21 人の専門家が集まった。

会合では、メラミンについての「安全 (safe)」レベルは示さず、「耐容 (tolerable)」レベルを設定した。メラミンは食品中にあるべきものではないが、その存在が避けられない (unavoidable) こともある。TDI は、食品中の避けられない汚染物について、人が摂取しても感知し得るような健康リスクを生じない 1 日あたりの耐容摂取量である。この TDI は、食品に意図的に混入されてメラミンが検出された場合に、各国当局が回収措置を講じるために安全基準を設定する助けとなる。

今回設定された TDI (0.2 mg/kg 体重) は、体重 50kg の人の場合、1 日あたりのメラミンの耐容量が 10 mg となる。

この TDI はメラミン単独の場合にのみ適用される。シアヌル酸単独の TDI は、1.5 mg/kg 体重のままである。メラミンがシアヌル酸と共存する場合はより毒性が高いとみられているが、これらの 2 つの物質に同時に暴露した場合の健康ベースのガイダンス値を導くにはデータが不十分である。

WHO の Dr.Schlundt は、「多くの国が現在採用しているメラミンの基準 (乳児用ミルクで 1 ppm、その他の食品で 2.5 ppm) は、この TDI に照らして十分な安全マージンがある。」としている。